

小学生を対象とした加西市の農業の啓発活動について

5月16日（水）晴天の中、市立九会小学校5年生の児童52名を対象に、九会小学校区で農作物を栽培する学習を実施しました。

前回5月8日（火）は図書室にて「加西市の農業」や「九会校区の農業」などの学習を行い、糶屋ダムの水が私たちのところにきている経路や地産地消の大切さについて説明しました。本日は実際に農作物を栽培することで九会校区の農業体験を行いました。夏野菜やサトイモ、黒豆、スイカ、カボチャ、サツマイモの種や苗を植えました。恵まれた環境の中作っている九会校区の農業を実際に体験することで、土や水の大切さを肌で感じ、九会校区の主要な主水源を管理している加古川西部土地改良区の役割を理解していただけたと思います。

九会小学校の児童のみなさんは友達や先生方、改良区の職員と力を合わせ、種や苗を植えることで農業の楽しさや難しさを学習していました。子どもたちに農業のおもしろさや水利施設の存在意義を伝えることができ良かったです。

【活動状況写真】



全体風景



夏野菜の苗植え



畑を耕す作業



スイカの苗とピース

